

科目名称	キャリアデザイン
授業コード	A0201
英語名称	Career Design II
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	嶋田 泰典
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>昨今の社会情勢の大きな変化の中で、生き方や働き方はますます多様化している。そのような中で、一人一人が自分自身の人生や働き方を主体的にとらえ、能動的にキャリアを形作っていくことが重要になっている。</p> <p>「キャリア」とは「ライフキャリア」と「ビジネスキャリア」から構成される。キャリアデザインでは、主に「ビジネスキャリア」に焦点をあて、今後の職業人生を形作っていく上での、礎(いしずえ)を築くことを目的とする。(「ライフキャリア」についても適宜取り上げる)。</p> <p>授業では、講義によるインプットだけでなく、個人ワークやグループワークを通じた能動的に考え・学ぶ機会も提供し、キャリアデザインに対する理解を深めて行く。</p> <p>また、本講義は就職活動に向けた事前準備の位置付けとして、「エントリーシートの疑似作成」「ビジネスコミュニケーション」「業界・職業理解」など、実践で活用できる講義内容を含んでいる。なお「適正検査対策(SPIドリル*)」も扱う予定としており、実施する場合は講義の中で進め方についての説明を実施するとともに、学習進捗は適宜確認を行い成績へも加味する予定。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>担当講師 嶋田泰典は、日系電機メーカーで一貫して人事・総務の仕事に携わり、社員にとどまらず学生も含めた社内外とのキャリア相談の経験を有している。また、日系電機メーカー退職後、外資系コンサルティングファームで社外の顧客に対するPJワークに従事するとともに、Employee Experience (EX/従業員が企業や組織の中で体験する経験価値) 向上に向けた推進メンバーとして、キャリア相談をはじめとした各種施策の立案・推進を行っている。</p> <p>これらの経験を通じて、学生のみなさんが「人生」や「働く」ということについて自ら主体的にデザインしていく上で必要なマインドや考え方をお伝えし、講義やワークを通じて共に考える場を提供していくことができる。</p>
到達目標	<p>建学の精神に基づき、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備え、倫理的な判断力を有した社会で活躍し続ける人材を育成することを目的とする。</p> <p>(1) 働くとは何か/なぜ働くのかを理解・考察する。 (2) ビジネスキャリアの形成において必要な要素を理解する。</p>
計画・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 オリエンテーション (授業の概要や、今後の進め方について理解する) ・第2回 キャリアデザインとは何か/なぜ学ぶのか (キャリアデザインとは何で、なぜ学ぶ必要があるのか理解する) ・第3回 働くとは何か/なぜ働くのか(1) ・第4回 働くとは何か/なぜ働くのか(2) (働くとは、社会の中でどのような意味があり、なぜ私たちは働くのかを理解・考察する) ・第5回 職業選択の考え方 (職業選択理論に触れ、今後の職業選択に向けた理解・考察を行う) ・第6回 組織への参入と適応 (組織へ参入(入社・就職)してから、当該組織へ適応していくプロセスについて理解する) ・第7回 仕事・技能の熟達

計画・内容	<p>(仕事・技能の熟達方法やプロセスについて理解する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回 仕事におけるリーダーシップ (仕事において必要なリーダーシップの内容と、その重要性を理解する) ・第9回 ワークルールの基礎 (働く上で把握しておくべきワークルール(主に労働法)について理解する) ・第10回 就職活動 (就職活動の進め方や必要な準備について理解・考察する) ・第11回 自己理解 (キャリアアセスメントを通じ、自己の特性や適性を理解する) ・第12回 業界・職業理解 (業界・職業に関して構造や内容を理解・考察する) ・第13回 ビジネスコミュニケーション/ベーシックスキル(1) ・第14回 ビジネスコミュニケーション/ベーシックスキル(2) (職業人・社会人として、求められる基礎力・姿勢/態度・責任などを理解する) ・第15回 キャリアデザイン のまとめ (これまでの授業の振り返り) <p>「適正検査対策(SPIドリル*)」を扱う予定としており、実施する場合は講義の中で進め方についての説明を実施するとともに、学習進捗は適宜確認を行い成績へも加味する予定。</p>
授業の進め方	<p>本授業では、講義に加えて個人ワーク、グループワークを行いながら進める。毎回、授業の最後には振り返りシート(リフレクションシート)の提出を課し、授業で学んだこと、疑問に感じる点、気づきなどを振り返る機会とする。また、実際に働いている社会人の話(キャリアデザインにおける様々な持論)を聴き、自分自身のキャリアデザインにおける理解や考察につなげられるような機会も予定している。</p>
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業の最後には振り返りシート(リフレクションシート)の提出を課す。振り返りシート(リフレクションシート)に書かれた質問・疑問について、次回以降の授業のなかで取り上げ、教員と学生あるいは学生同士の意見交換を行う。 ・グループワークのなかで、コミュニケーション力、特に聴く力・伝える力を醸成する。
授業時間外の学修	<p>予習復習で60時間相当。授業の振り返りやホームワークなどを実施する。</p>
教科書・参考書	<p>授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。</p>
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ごとの振り返りシート(リフレクションシート) 50% ・課題レポート 25% ・グループワークへの参加状況 25% <p>「適正検査対策(SPIドリル*)」を扱う予定としており、実施する場合は成績へ加味する予定(成績への反映方法は講義内で説明予定)。</p>
課題等に対するフィードバック	<p>各講義の中で、前回の講義に対する質問、学生が抱いたキャリア全般についての疑問に回答する。それに加えて、必要に応じて他の学生も交えた意見交換などを行い、他者と協働で考える機会を持つ。</p>
オフィスアワー	<p>講義開始前、講義終了後に講義室で対応する。また、講義ごとに提出を求める振り返りシート(リアクションシート)に記載された質問や疑問については、講義の中で回答する。 窓口教員：内藤可夫 y-naitoh@ntu.ac.jp</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン は、キャリアについて初めて学ぶ学生を対象としている ・キャリアデザイン は、ビジネスキャリアを主テーマとして取り上げるが、キャリアデザイン の授業内容(ライフキャリア)も一部取り上げる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワーク(実施可能な場合)を交えて進める。 成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。</p>